

### 3年連続で囲碁「県最強位」

## 古川元さん、強さの秘訣は？



こがわ・げん 28歳 青森市

1982年弘前市生まれ。95年、日本棋院院生に。2002年に院生卒業。03年、日本アマ囲碁最強戦挑戦者決定トーナメント準優勝。06年から県下アマ棋聖戦5連覇。10年、全国C A TV局選抜囲碁ベスト8。六段

# 基本を繰り返し勉強 目の前の一手に集中

強豪並み居る本県の囲碁界で今、実力ナンバーワンといつて差し支えないだろう。昨年12月、県最強位のタイトルを防衛、3年連続で同タイトルに就いた。2009年度には県最強位をはじめ県名人、県王座の本県三大タイトルを独占。東北のトップクラスが激突する東北六県囲碁大会に



も09、10年と本県チームの大将として出場、本県を2連覇へ導く原動力となった。「強いですね。自分では全く強いと思っ

「父やおじさんが囲碁好きで、盆や正月に親戚が集まる

中学1年の秋、プロの棋士を目指して上京、日本棋院の院生となった。全国から集まった棋士の卵たちが、対局しながら力を競う。プロになれ



「なぜプロになろうと。小学4、5年の頃、プロになる、と決めました。子ど

ただいた工藤紀夫先生(弘前市出身、日本棋院九段)に相談しました。工藤先生は弟子を取っていませんでした。大先輩九段を紹介していただき、住み込みの内弟子に。親

勝するなど力を上げたが、棋士採用試験の壁は突破できず、年齢制限の規定により19歳で院生卒業となった。「院生の頃、壁を超えられず、囲碁自体がつかなくて苦し

「これからの目標は？」「県内の囲碁大会が子どもたちでいっぱいになることが僕の夢。囲碁の魅力はどんなに年齢差があっても全力でぶつかり合えること。囲碁を通して、精神的な強さなど人生で大切なことを学べます。伝統ある青森県の囲碁界を次の世代につなぐ役目を僕が少しでも果たせれば、囲碁をアピールするために、見た目も大事かなと思い、ダイエットして20kg減りました。これで彼女もできるんじゃないですか……ハハハ」



礼儀正しい好青年。これも囲碁で培われたものだろう。でも本人は「実は怠け者でちゃらんぼらん。こんな真面目な話をしているのを知人が読んだら冷やかされそう」と笑う。今夏の東北六県囲碁大会は地元青森市での開催。既に3年連続で大将での出場が決まっている。本県が目指すのは初の3連覇。「準備を尽くして望みたい。やることをやれば負けても成長できます」

ちよつとどお尋ねします